



JR東日本の強引なダイヤ改正 地域との共生はどこに？その④

JR京葉線ダイヤ改正で国会論戦 国土交通大臣より 「地元とコミュニケーションを」

JR東日本は3月16日にダイヤ改正を実施します。JR京葉線（東京—蘇我）の朝と夕方以降の通勤快速や一部の快速を取りやめ、各駅停車に変更するダイヤ改正問題は27日、国会でも取り上げられた。国土交通大臣より衆院予算委員会分科会で、一般論と前置きした上で「**ダイヤ設定には地元自治体などとコミュニケーションをとるよう、鉄道事業者に指導している**」と述べた。名指しこそしなかったものの、JR側に暗に注文した格好だ。「**利用者の利便性の確保にできる限り配慮することが重要だ**」と述べた。

■ ダイヤ改正の狙いは「速達電車の特急化」

JR東日本は近年、首都圏を走る通勤時間帯の速達電車の特急化を目指している。京葉線では特急「わかしお」が運行されているが、3月のダイヤ改正で通勤快速等の廃止に合わせて増発。従来の指定席・自由席の区分をやめて全席指定席になる。→ **自由席から指定席の格上げ（実質値上げ）**

■ 特急料金を払っても4分遅くなる

現行の通勤快速 蘇我—東京駅間を42分で運行。
ダイヤ改正で増設される「わかしお4号」蘇我—東京駅間を46分を予定。

※今まで普通運賃を支払うだけで42分で東京に着いたのに、

改正後は追加の特急料金を払っても4分延びる。

この反発の要因は効率最優先で事前に地元の利用者や自治体との協議等を行わなかったことにある!!